

名古屋市立 川中小学校の総合的な学習を支援しました

令和2年10月21日(水)に、名古屋市立川中小学校で「庄内川の自然環境」と「水害と防災」をテーマとした環境と防災の学習の支援を行いました。児童が庄内川に生息する水生生物の観察や庄内川の水質計測などを体験をすることで、河川環境の大切さを学びました。また、今年は東海豪雨から20年目であることから、水害を経験したことがない世代である児童は、近年の大規模水害や東海豪雨の被害の様子を知らせました。水防災は、「事前に備える」や「自らの命は自らで守る」という考えをもった行動が大切であることを伝えました。

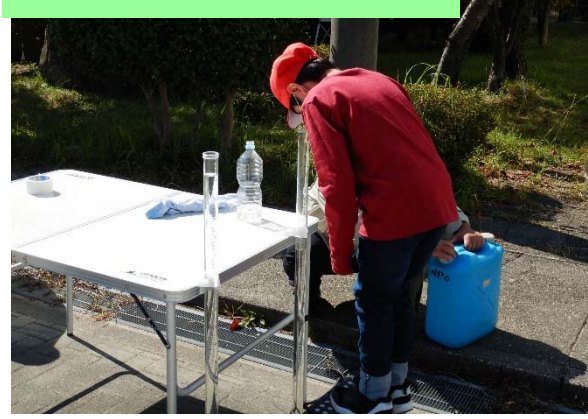
環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチ～



環境学習 ～水質計測～



防災学習 ～近年の大規模水害の説明～



【参加した児童：3年生45人】
★生徒たちの感想や質問など

- ・ウナギはヌルヌルしていました。
- ・カワアナゴのウロコはザラザラしていました。
- ・クサガメやヌマガイは硬かった。
- ・カワアナゴはおなかと背中がひっくり返っているみたいで驚きました？
- ・下水道の説明で生育環境を悪化させるのは人間とわかりました。
- ・自分の命は自分で守るのが大切だとわかりました。

など

防災学習 ～「自らの命は自らで守る」～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。